

(別紙)

令和6年度「実地指導者研修」 研修内容

【会場】 広島会場：広島県看護協会会館 福山会場：県民文化センターふくやま

開催日時	研修テーマ	時間数	ねらい	研修内容	研修方法	講師
1日目 9:30 16:00	1 新人看護職員の現状	5.5	1) 新人看護職員研修ガイドラインの基本的な考え方が理解できる。	(1) 看護基礎教育の現状 (2) 新人看護師の技術習得状況 (3) 新人看護職員研修制度	講義 演習	福山市民病院 看護部長 内田朋子 助言者 広島 2名 福山 2名
	2 学習に関する基礎知識		1) 成人学習者の特徴と教育方法について理解できる。	(1) 学習理論(概念、動機付け、成人学習等) (2) 教育方法(チームの力を活用した学習支援)		
			2) 教育評価の意義と方法について理解できる。	(1) 教育評価の意義・方法 (2) フィードバックについて		
	3 組織の教育システム		1) 所属施設で指導担当する新人に照らして、新人看護職員の現状と課題が理解できる。	(1) 新人看護職員の現状と課題		
			2) 新人看護職員研修ガイドラインに基づき、所属施設の新人看護職員教育の方向性を理解できる。	(1) 組織の理念 (2) 人材育成の考え方 (3) 所属施設の教育体制		
			3) 求められる実地指導者の役割と能力について理解できる。	(1) 実地指導者の役割 (2) 実地指導者に求められる能力		
	4) 新人看護職員研修ガイドラインに沿った新人教育計画とその到達目標の立案が実地指導上の拠り所となることを理解できる。 (1) 実地指導における個別の指導計画の立案・実践能力に応じた指導方法について理解できる。 (2) 実地指導者が行う評価のプロセスとフィードバックの要点が理解できる。		① 個別の指導計画の立案 ② 実践能力に応じた指導方法 ① 実地指導者が行う評価のプロセス ② 評価結果のフィードバックにおける要点			
2日目 9:30 16:00	4 看護技術の指導方法	5.5	1) 演習の成果を共有し、実地指導者の役割と責務、指導計画と到達目標の評価方法等について理解を深め、所属部署での具体的なイメージ化ができる。 (1) 演習をとおして、実地指導者自身が看護ケア場面における「看護技術を支える要素」を満たす視点を明確にできる。 (2) 演習をとおして、設定した看護ケア場面に関する評価、評価結果のフィードバック方法などの視点を明確にできる。	① 技術指導について 「看護技術を支える要素」を満たす視点の明確化 ① 看護技術の評価方法 評価時期・評価項目 評価方法 評価時の留意点 ② 評価結果のフィードバック方法	演習 発表	福山市民病院 看護部長 内田朋子 助言者 広島 2名 福山 2名
3日目 9:30 16:00	5 メンタルサポート支援	5.5	1) 自己を表現する方法について理解する。 2) 円滑な人間関係を構築するためのコミュニケーション技術について理解する。	(1) コミュニケーション (2) コーチング (3) カウンセリングスキル	講義 演習	(有)AE メディカル 代表取締役 野津浩嗣
計		16.5				